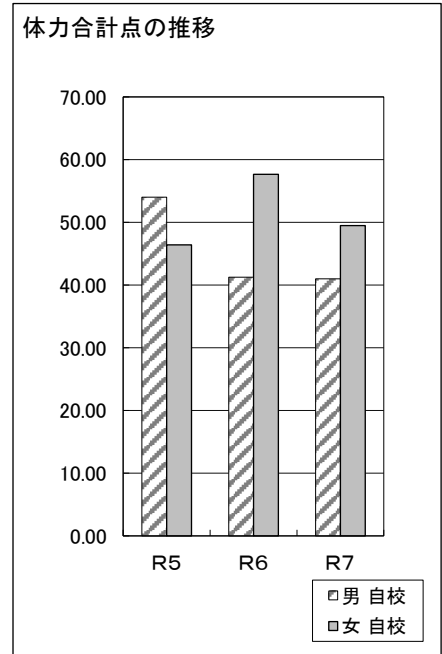
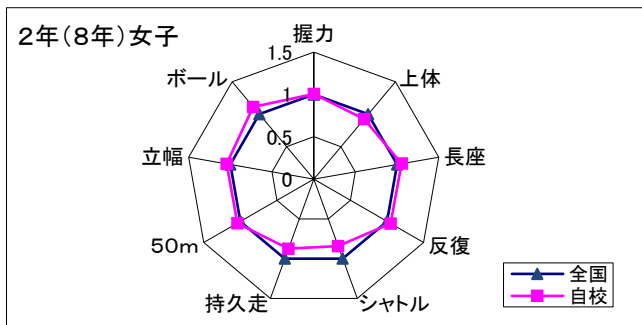
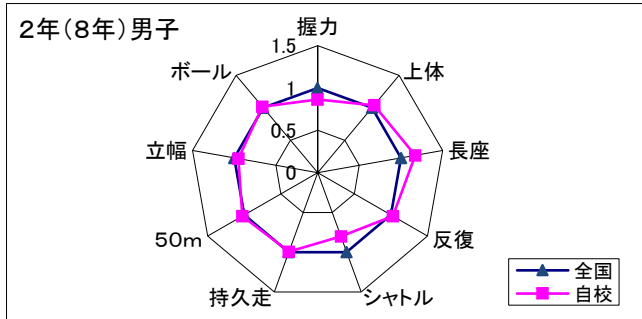


学校名	中22 蒲刈中学校
-----	-----------

1 自校の実技結果と全国平均との比較

学年	性別		R7平均値								体力合計点			
			握力 (kg)	上体 (回)	長座 (cm)	反復 (点)	シャトル (回)	持久走 (秒)	50m (秒)	立幅 (cm)	ボール (m)	R5	R6	R7
2年	男	全国	28.91	25.99	44.98	51.63	78.59	410.24	8.00	197.50	20.66	41.18	41.69	42.06
		自校	25.00	27.00	52.67	53.00	63.00	413.00	7.78	187.67	21.00	54.00	41.25	41.00
		比較	△	○	○	○	△	△	○	△	○	○	△	△
	女	全国	23.12	21.62	46.97	45.77	50.44	310.35	8.97	166.39	12.36	47.08	47.22	47.46
		自校	23.25	20.00	49.50	48.00	42.50	349.50	8.61	173.75	13.75	46.40	57.67	49.50
		比較	○	△	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



2 重点種目の結果についての分析

呉市の重点種目	中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目	自校の重点種目 ※義務教育学校は、後期課程の重点種目
50m走	ハンドボール投げ	20mシャトルラン
<p>〈成果と課題〉</p> <p>・男女ともに全国平均を上回る成果が見られた。これは、日頃の体育授業において、走る動きを取り入れた体づくりを行ってきたことが、瞬発力や走力の向上につながったためであると考えられる。一方で、走力をさらに高めるためには、正しい走り方や運動量を意識した学習を充実させていくことが今後の課題である。</p>	<p>〈成果と課題〉</p> <p>・今年度の結果は、昨年度と比較して向上が見られた。また、男女ともに全国平均を上回る結果となった。これは、普段の体育授業において、体づくりとしてドッジボールなどの投動作を多く取り入れてきたことが、投げの力や全身を使った動きの向上につながったためであると考えられる。</p>	<p>〈成果と課題〉</p> <p>・男女ともに全国平均には届かなかった。このことから、全身持久力の向上について課題が見られ、今後は継続的に体を動かす運動を授業に取り入れていく必要がある。</p>

3 生徒質問紙調査の結果及び分析

運動やスポーツをすることが好きな生徒の割合			朝食を毎日食べる生徒の割合			1週間の総運動時間が60分以上の生徒の割合		
男子	全国	90.9	男子	全国	82.0	男子	全国	90.2
	自校	100.0		自校	100.0		自校	100.0
女子	全国	77.2	女子	全国	74.6	女子	全国	78.3
	自校	75.0		自校	75.0		自校	100.0
<p>〈成果と課題〉</p> <p>・男子は全国平均を上回る結果となった。これは、体育授業を通して運動に親しむ機会を継続的に設けてきたことが、運動への肯定的な意識につながった成果だと考える。一方、女子については全国平均を上回るまでには至らず、運動への意欲や楽しさをより感じられるような活動内容や関わり方を工夫していくことが今後の課題である。</p>			<p>〈成果と課題〉</p> <p>・男女ともに全国平均を上回る結果となった。これは、家庭や学校における健康意識の高まりが、生徒の望ましい生活習慣の定着につながっている成果であると考えられる。一方で朝食の内容や栄養バランスまでは意識できているかについては十分とは言えず、今後の食事の質にも目を向けた健康教育を進めていくことが課題である。</p>			<p>〈成果と課題〉</p> <p>・男女とも全国平均を上回る結果となった。これは、学校生活の中で運動に親しむ機会を継続的に確保してきた成果であると考えられる。一方で、運動内容の偏りや個人差も見られることから、今後は多様な運動を取り組めるような工夫や、運動習慣の質を高めていくことが課題である。</p>		